

Column

思い出にある女性の先生たち

橋本 久子
理学研究科
教授



学生の頃からこの大学に学び、いつしか、この大学で研究・教育をする立場にさせて頂きました。私の時は入学式が無く、クラス担任の先生から簡単なガイダンスを受けて大学生活がスタートしたのを記憶しています。その時の担任が、実は女性の教授の先生でした。後に風の便りに聞いた話では、本学で初めて教授になられた女性の先生だとか。その方は私が初めてお会いした大学の教授の先生であり、その時「女性でも教授になるんだ」という意識が脳裏の片隅に残ったように思います。何となく気になり、取るべき「情報科学」の授業を捨て、代わりに先生の「哲学」の授業をとりました。難解でしたが、その時の「認識論」は今でも一番覚えている授業になっています。その後、女性の先生に講義を受ける機会は全く無く、大学院に進みました。すると、当時片平におられた女性教授の先生が、高温超電導の発見の話を、とにかく興奮して説明して下さいました。海外出張中に研究室の方が発見し、当時faxか何かで連絡し合ったという秘話を熱く語るわけです。授業はほとんどその話ばかりだったように思います。「ああ、元気な先生がいらっしゃるな～。」と思ったものです。振り返ると、私は小学校6年間のうちの4年間、同じ女性の先生に担任をして頂きました。今でも最高の恩師だと思っています。中学校の理科の先生も女性でした。高校では数学がそうでした。これら女性の先生たちの姿をみて、私は育ってきたように思います。今教える立場になったとき、果たして彼女たちが私に与えてくれたような影響を自分が与えられるかどうか自信はありませんが、そういう存在になりたいと思っています。

Award

栗原 和枝教授が平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞



本学の他受賞者とともに



栗原 和枝教授



東北大学男女共同参画推進センター

Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

TEL 022-217-6092

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
E-mail office@tumug.tohoku.ac.jp
Web http://tumug.tohoku.ac.jp/

TOHOKU
UNIVERSITY

TUMUG

2018 VOL.12

TUMUGとは「Tohoku University(東北大学)」「Movement(運動・活動)」「United(団結・協力)」「Gender(ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクロニム)。東北大学が「筋ぐ」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして拡がっていくことを目指しています。



センター新体制で、東北大エンパワーメントを推進します!

- 01 ▶ 男女共同参画推進センター新体制・就任挨拶
- ▶ 全学教育科目「ジェンダーと人間社会」関係教員が平成29年度 東北大学総長教育賞受賞
- 02 ▶ 平成30年度 「女性教員採用促進事業」学内部局募集のお知らせ
- 03 ▶ 平成30年度東北大学サイエンス・エンジェル(SA)の活動
- ▶ 女子大学院生を対象とした賞
- 04 ▶ コラム:橋本 久子 教授

男女共同参画推進センター新体制・就任挨拶



大隅 典子

男女共同参画推進センター長
副学長(広報・共同参画担当)
男女共同参画委員会委員長
医学系研究科 教授



田中 真美

男女共同参画推進センター・
副センター長
総長特別補佐(共同参画担当)
医学系研究科 / 工学研究科 教授



芳賀 满

男女共同参画推進センター・
副センター長
総長特別補佐(共同参画担当)
高度教養教育・学生支援機構 教授

本男女共同参画推進センターは2014年に設置され、本年より前センター長の植木俊哉理事より引き継がせて頂きました。どうぞよろしくお願いいたします。昨年、指定国立大学に認められ、国際化を推進し、世界から尊敬される大学を目指す本学としては、外国语を有する教職員・学生への支援や、障がいを持つ方々の参画などの課題もあります。大野英男新総長のご方針として、副学長の所掌事項が「男女共同参画」から「共同参画」になったことは、そのような将来に向けての第一歩と捉えられます。今後もいっそ本学の人的ダイバーシティの推進に励む所存です。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

東北大学の研究環境整備は目覚ましい発展を遂げております。今年4月に青葉山みどり保育園と星陵地区の星の子保育園が開園となり、学内に3つの保育園の設置が達成されました。私自身、現在のTUMUG支援事業の基となる「杜の都女性学者ハードリング支援事業」の支援や、学内の「川内やき保育園」を利用して研究活動を続けており、支援や環境整備の重要性を痛感しております。すべての方が生き生きと活躍できるような東北大学となるよう尽力したいと存じます。



開催告知

沢柳フェローランチミーティング
～大野 英男総長から女性研究者へのメッセージ～

新体制となった本事業の総括責任者である大野英男総長をお招きし、女性研究者に向けたメッセージを発信して頂くとともに、意見交換会を開催します。

多数の皆様のご参加をお待ちしております!

日時:7月5日(木)12:00~13:30
会場:青葉山みどり厚生会館 1階
Buddy's Table (青葉山新キャンパス)
※詳細はセンターWebページをご覧ください。

お申込みは
こちら



QRコードからお申込みください。

全学教育科目「ジェンダーと人間社会」関係教員が平成29年度 東北大学総長教育賞受賞

「東北大学総長教育賞」は、授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。

担当教員: 大隅 典子(副センター長 / 医学系研究科 教授)

三隅 多恵子(法学研究科附属法政実務教育研究センター 講師)

関係教員: 中村 文子(学際科学フロンティア研究所 助教)

李 善姫(東北アジア研究センター 教育支援協力者)

吉田 浩(経済学研究科 教授)

山元 大輔(生命科学研究科 教授)

瀧 靖之(加齢医学研究所 教授)

朝倉 京子(医学系研究科 教授)

田中 真美(副センター長 / 医工学研究科/工学研究科 教授)

宮崎 真理子(医学系研究科 准教授)

※所属・役職は平成29年度当時のものです。

NEW Program

平成30年度

「女性教員採用促進事業」学内部局募集のお知らせ

本学における女性教員採用促進事業として、「(1-1)部局公募型」、「(1-2)国際公募型」、「(2)ポストアップによる女性上位職移行策」、及び「(3)各部局の特性を生かした努力による促進策」の4種類の公募を本年度も開始しました。要領をご確認の上、奮ってご応募ください。

(1-1) 部局公募型

受入部局の募集

内 容 女性教員(准教授、講師、又は助教)の新規採用を希望する学内部局を募集(採択された部局は、女性教員の公募を実施)。当該女性教員の人事費を、最大3年間まで支援。

対象者 全部局**件 数** 4件程度**本部締切** 平成30年6月15日(金)

(2) ポストアップによる女性上位職移行策

内 容 上位職の実力が認められる女性教員の在籍する学内部局を募集。上位職と現職の人事費の差額分を最大5年間まで支援。

対象者 全部局**件 数** 6件程度(上位職として、准教授4名、教授2名程度)**本部締切** 平成30年8月17日(金)

(3) 各部局の特性を生かした努力による促進策

内 容 教員(助教以上)、上位職、及び役員・役職者における女性比率の上昇を実現し、ダイバーシティ研究環境の実現に向けた促進努力を行う独自の取組を提案する学内部局を支援。

対象者 全部局**件 数** 1~2件程度**本部締切** 平成30年6月15日(金)

開催報告

平成29年度 東北大学優秀女性研究者賞「紫千代萩賞」受賞者決定・授賞式



平成29年度より杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業の一環として、東北大学優秀女性研究者賞「紫千代萩賞」を創設しました。3月9日(金)、下記四分野の受賞者に、表彰状ならびに副賞(研究教育費として1名あたり25万円)が里見元総長より授与されました。

●受賞者

人文・社会科学分野／永吉 希久子 文学研究科 准教授
理工・工学分野／梅津 理恵 金属材料研究所 准教授
農学・生命科学分野／常松 友美 学際科学フロンティア研究所 助教
医歯薬学・保健分野／有澤 美枝子 薬学研究科 准教授

第3回管理職セミナー

日時:3月9日(金) 14:30~16:50
会場:知の館3階 講義室(平キヤンバス)



管理職を対象に、ダイバーシティ推進にかかる意識醸成を目的としたセミナーを開催しました。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授の萩原 なつ子氏が、特別講演『ガラスの地下室』&『ガラスの天井』からの脱却を目指して』を、第1回東北大学優秀女性研究者賞「紫千代萩賞」受賞者4名が研究紹介を行いました。

お問い合わせ

- 事業内容に関するお問い合わせ
男女共同参画推進センター
(TEL)022-217-6011
(E-mail)sokushin@tumug.tohoku.ac.jp
※お問い合わせはメールにてお願いします。
- 事務手続きに関するお問い合わせ
総務企画部総務課
(TEL)022-217-4811
(E-mail)sokushin@tumug.tohoku.ac.jp

※詳細はセンターWebページをご覧ください。

(1-2) 国際公募型

1. 受入部局の募集

内 容 幅広い分野が合同で行う国際公募により女性教員(准教授、講師、又は助教)の新規採用を希望する学内部局を募集(応募した全ての部局は合同で女性教員の国際公募を実施)。採用された女性教員のメンター教員の所属する受入部局に対して、当該女性教員の人事費を最大3年間まで支援。

対象者 全部局**件 数** 制限なし**本部締切** 平成30年9月下旬予定

2. 女性教員の公募

内 容 公募する教員ポストと受入部局は、平成30年8月頃に男女共同参画推進センターWebページ上で公開する予定(ただし申請にあたり、公募する教員ポストの受入部局に所属する、メンター教員を選んでいただく必要があります)。

対象者 博士の学位を有する女性研究者**件 数** 4名程度(准教授、講師、又は助教)**本部締切** 平成30年9月15日(木)

国際公募型採択者の声

Soyoung Baek

Assistant Professor, Research Institute of Electrical Communication



My husband and I were conducting researches in US since we got Ph.D. degrees. Last year, when we were thinking of settling down somewhere in Japan, one professor of Tohoku University introduced the job opening from TUMUG. That was really a great chance for us since it's not easy to find jobs for two researchers in the same University, especially in the similar fields. I appreciate that TUMUG provided me a chance to work at Tohoku University so that my family could make a step forward into a new and exciting life in Sendai. I found that TUMUG has various programs to support University female staffs and their families. Such programs will be a big help for female researchers to practically continue their researches while performing the role as a mom, and eventually can encourage a healthy work-life balance.

開催報告

明日をソウゾウするあなたへ～女性科学者への道案内～

日時:3月3日(土)~4日(日)
会場:知の館3階(平キヤンバス)他
参加者…15名 参加SA…3名



女子高校生(1,2年)を対象に、遠い存在として捉えらるがちな現代の科学や女性科学者としての職業を身近に感じてもらい、次世代のリーダーとして明日を想像し、豊かな社会を創造する女性を育成することを目指して開催され、理系進路選択についての理解を深めました。

東北大学男女共同参画セミナー「研究者ってなに?「SA OG」編」

日時:3月10日(土) 13:00~15:00
会場:片平北門会館エスパス・セシリール
参加者…35名

本学の自然科学系の大学院を修了後に研究職として社会で活躍する若手の女性研究者が、研究内容や日常生活、ワークライフバランス、理系進路や研究職の実際や魅力について講演しました。また、SAの概要と活動内容の紹介、科学体験プログラムの体験会を行いました。



講師:八重樫 咲子氏(山梨大学大学院総合研究部工学域・助教)
中村 友香氏(花王株式会社 香料開発研究所 研究員)
丸山 美帆子氏(大阪大学レーザー科学研究所 特任研究員)

[学内での動き]

センターでは、各部局のアカルティ・ディベロップメント(FD)実施を支援しています。平成29年度採択の2部局で下記の通りFDが開催され、「ダイバーシティ・インクルージョン」という新しい概念をご紹介いただいた「男女の垣根を超えた活発な議論が繰り広げられ、ダイバーシティ研究環境実現のための取り組みの一つとして大きな効果が得られた」「女性研究者として活躍していくための指針になった」等の声が寄せられました。

電気通信研究所
ナノ・バイオ融合分野で活躍する女性研究者

日時: 平成29年7月28日(金)15:00~18:00
会場: 電気通信研究所 ナンスビン総合研究棟4階カンファレンスルーム
講師: 玉田 純氏(九州大学先導化学研究所)/上野 祐子氏(NTT物性科学基礎研究所)

多元物質科学研究所
第6回多元研男女共同参画推進セミナー
～若手女性研究者が語るワークライフバランス～

日時: 平成30年2月19日(月)15:00~17:00
会場: 多元物質科学研究所 南総合研究棟 2
講師: 神谷 由紀子氏(名古屋大学大学院工学研究科)/佐藤 しのぶ氏(九州工業大学工学研究院)

募集中

杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業の以下プログラムの申請を募集しています。

- ダイバーシティ研究環境実現のための部局等による取組支援プログラム
- 国際学術論文作成のための英文校閲費用補助(第2四半期)

センター締切:6月15日(金) ※詳細はセンターWebページをご覧ください。



医学系研究科 七星賞 ~NANASE Award~



画像提供: 医学系研究科

理学研究科 黒田チカ賞

青葉理学振興会では女性として化学分野でわが国最初の博士号を取得した黒田チカ博士を記念し、毎年、優れた研究業績をあげた理学研究科および生命科学研究科博士課程の女子学生数名を選び顕彰しています。

平成29年度の受賞者2名が決定し、3月13日(火)に授与式が行われました。

●黒田チカ賞受賞者 (*)内は受賞時の所属
WU, Jenna Wen Ju(化学専攻 博士課程後期3年、理論化学)
松岡 萌(地学専攻 博士課程後期3年、初期太陽系進化)



画像提供: 理学研究科



画像提供: 医学系研究科

募集中

お問い合わせ 総務企画部総務課 **(TEL)**022-217-4811 **(E-mail)**danjyo@grp.tohoku.ac.jp **(Web)**<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/>

仙台Iソソタクラブ 東北大学大学院
女子学生のための国際学会発表渡航支援事業

仙台Iソソタクラブからの支援金をもとに、世界で活躍できる女性の人材育成並びに本学における男女共同参画を推進することを目的として、本学に在籍する女子大学院生が国際学会で研究発表を行う際の渡航費用を支援します。

[支援内容] 支援内容申請に基づき、渡航に係る費用を支給する。

※15万円を上限、参加費は対象外。

[申請締切] 平成30年6月29日(金)必着

第5回(平成30年度)澤柳政太郎記念
東北大学男女共同参画賞

アカデミアにおける男女共同参画の先駆として各分野で活躍し多大な貢献をされた方々を選考し顕彰いたします。今年度も募集しておりますので、推薦をお願いいたします。

[応募締切] 平成30年7月31日(火) 当日消印有効

[受賞課題発表] 平成30年9月22日(土)